

団体名		社会福祉法人 武蔵野						
① 事業	指標名	桜堤ケアハウスデイサービス検討への対応（事業と体制の在り方）、ハビット相談待機期間の短縮			目標値	デイサービスの転用後への対応、ハビットの在り方の検討	実績値	デイサービス転用への準備
	過去の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達成率	50.0%	達成状況	未実施(一部達成) ・未達成・達成
	(単位: )							
	取組内容	※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 デイサービスの在り方の検討を注視しながら、職員配置及び財務への影響を考慮し、H30年度末での閉鎖を検討した。ハビットについては、児童発達支援センター化も見据え、市とともに練馬区児童発達支援センターを視察したほか、センター化へ向け市と検討会議を実施した。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 デイサービスについては、市庁内検討が年度末となったため、検討結果への対応には至らなかった。今後は桜堤地区福祉サービス再編検討委員会の議論を注視しながら、検討を進める。ハビットについては、センター化及び桜堤ケアハウスデイサービス転用を踏まえ事業内容を検討した。待機期間は10日程度短縮できた。						
二次評価	平成30年度については、目標達成に向けた検討を適切に行ったと評価できる。今後は、桜堤地区における福祉サービス再編検討委員会報告書に基づき、障害児向けサービス事業を新たに実施するなど、適切な機能強化を行っていくこと。							
② 財務	指標名	法人全体会計の収支差額の拡大			目標値	40,000,000円	実績値	47,144,050円
	過去の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達成率	117.9%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 円)	(63,967,266)	11,985,241	35,955,646				
	取組内容	※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 赤字拠点の収支改善のため、法人利用説明会を開催し、利用者増への取組みを推進した。ベーカリーは、その日売れ残った商品を職員へ販売しロスを削減するとともに外販拡大に努めた。食堂はSNSの活用、近隣へのクーポンの配布により新規顧客獲得に努めた。黒字拠点の収支拡大のため、介護給付費等の加算獲得・減算防止の観点から事業所職員を選定し、資格取得のため研修参加を推進したほか、基金を設立しイベント等でチラシを配付し寄付を募った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 上記取組みにより一定の効果は見られたが、抜本的な解決には至っていない。就労移行支援及び児童発達支援部門の黒字、高齢者系の赤字の傾向は継続している。また、建設費補助・基金取り崩し等による収支改善状況も踏まえ、引き続き収支の改善に努めたい。						
二次評価	取組内容で記載のある改善項目については、一定評価できる。ただし、基金の取り崩しによる収支差額の維持が見られるので、赤字部門の事業改善を含め、法人全体での収支の改善に努めること。							
③ 内部 部 管 理	指標名	交代勤務、職員配置等、人事体制の検討			目標値	職員交代勤務体制の構築	実績値	交代制勤務の検討・試行
	過去の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達成率	50.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: )							
	取組内容	※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 わくらす武蔵野での職員配置及び交代制勤務を検討したほか、リエゾンの宿直を施設長に公募し、交代勤務がない部署からの応援を実施した。ゆとりえでは8時間夜勤を試行実施した。処遇については、給与制度について試算をし検討を進めた。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 交代制勤務について、検討・試行を実施した。職員の定数を確保し、円滑で安定した運営ができるように努めたい。処遇面については改定実施に向け引き続き検討を進めていく。						
二次評価	拠点ごとの収支の改善のため、交代制勤務を検討したことは評価できる。引き続き検討し、交代制勤務の導入について進めたいが、同時に、職員の疲弊や離職が起こることのないよう、正規職員・非正規職員に関わらず、職員への丁寧なヒアリングを行うよう努めていただきたい。							